

安保法案に 反対を明言

UAセンセン会長

連合加盟の最大労組である全国繊維化学食品流通サービス一般労働組合同盟(UAセンセン)は9日、広島市で第4回定期大会を行いました。

逢見直人会長は、今年の春闘について「物価上昇分を取りきれたとは言えない。実質賃金は明確な増加傾向とは言えず、課題を残した。継続的な賃上げが必要だ」と強調しました。

労働者保護ルールの改悪について、「対抗していかなければならない」と訴えました。

安倍内閣が提出した安保法案には、「反対の立場だ」と明言。

「集団的自衛権について見直しを検討することには必要だが、憲法の法的安定性、持続性を損なうものであってはならない。法案10本をひとまとめにするやり方では議論できない」としました。